

## 2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年3月26日

上場会社名 株式会社出前館 上場取引所 東  
 コード番号 2484 URL <https://corporate.demaecan.com/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 英雄  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 CFO 経営企画本部長 (氏名) 矢野 哲 (TEL) 03-4500-9380  
 四半期報告書提出予定日 2021年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年8月期第2四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	10,464	173.3	△8,387	—	△8,382	—	△9,610	—
2020年8月期第2四半期	3,828	22.7	△989	—	△966	—	△904	—

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 △9,615百万円(—%) 2020年8月期第2四半期 △1,029百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	△116.89	—
2020年8月期第2四半期	△22.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	28,356	18,945	66.5
2020年8月期	35,985	28,479	79.1

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 18,861百万円 2020年8月期 28,477百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

### 3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	171.7	△13,000	—	△13,000	—	△13,000	—	△158.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	85,486,500株	2020年8月期	85,486,500株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	3,268,674株	2020年8月期	3,271,074株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	82,216,420株	2020年8月期2Q	41,050,250株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2021年3月26日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年9月1日から2021年2月28日)につきまして、当社グループは「デリバリーの日常化」を実現すべく、出前館の拡大に向けた取り組みを加速させてまいりました。

新型コロナウイルスの影響が長期化し、店内飲食に対する営業自粛要請により、飲食店経営の厳しさが増している一方で、中食の需要が大きく伸びております。

そのような状況下、より多くの飲食店にご加盟いただくため、シェアリングデリバリー®のエリア拡大を積極的に進めてまいりました。第2四半期においても、新たに、高知県、香川県、徳島県、福井県、和歌山県、富山県、群馬県、長野県、佐賀県、福島県でのサービス開始によりサービス対応エリアは39都道府県に広がったほか、拡大する需要に対応するため、配達員の拡充に努め、配達員数は前年同期比で約10倍に達しました。また、シェアリングデリバリー®のサービス拡大に伴い、加盟店の増加が加速し、シェアリングデリバリー®による加盟飲食店は前年同期比で約7.5倍に増加しました。

さらに、テレビCMをはじめとした継続的な認知度向上施策を実施し、出前館の認知度が大きく向上したことなどにより、新規ユーザーが大幅に増加しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,464,025千円(前年同期比173.3%増)と引き続き事業の拡大が続いているものの、積極的な事業展開と投資実行により、利益については、営業損失は8,387,794千円(前年同期は989,318千円の営業損失)、経常損失は8,382,529千円(前年同期は966,090千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は9,610,656千円(前年同期は904,554千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
出前館サービス利用料	2,039,208	53.3	4,688,073	44.8	2,648,864	129.9
配達代行手数料	540,708	14.1	4,736,512	45.3	4,195,803	776.0
その他	635,756	16.6	706,244	6.7	70,487	11.1
小計	3,215,674	84.0	10,130,830	96.8	6,915,156	215.0
通信販売事業	612,885	16.0	333,195	3.2	△279,690	△45.6
合計	3,828,559	100.0	10,464,025	100.0	6,635,466	173.3

(注) 出前館事業における料金体系の変更を踏まえ、前第3四半期連結会計期間より記載を変更しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第2四半期連結会計期間末におけるGMVは710億円(前年同期比68%増)となりました。あわせて、アクティブユーザー数は582万人(前年同期比82%増)、加盟店舗数は5.9万店(前年同期比179%増)、シェアリングデリバリー®の世帯カバー率に関しましては39%となり、中期経営計画に沿った拡大が順調に進みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高の内訳は、出前館サービス利用料4,688,073千円、配達代行手数料4,736,512千円、その他706,244千円となり、セグメント売上高は10,130,830千円(前年同期比215.0%増)となりました。

## ② 通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、飲食店向けに焼酎などの通信販売を行っておりますが、引き続き新型コロナウイルス拡大に伴う飲食店の営業縮小の影響を受け、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は333,195千円（前年同期比45.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で7,593,796千円減少し、27,986,455千円となりました。主な要因は、未収入金が1,223,927千円、その他が268,243千円増加した一方、現金及び預金が9,111,363千円減少したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で35,816千円減少し、369,724千円となりました。主な要因は、投資有価証券が5,022千円増加した一方、投資その他の資産のその他が36,994千円、有形固定資産が2,198千円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で7,629,613千円減少し、28,356,179千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で1,898,139千円増加し、9,359,830千円となりました。主な要因は、未払金が2,007,313千円、賞与引当金が38,367千円増加した一方、未払法人税等が88,894千円、支払手形及び買掛金が29,223千円減少したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で6,566千円増加し、50,947千円となりました。主な要因は、その他が6,566千円増加したことによるものです。

この結果、負債残高は、前連結会計年度末比で1,904,705千円増加し、9,410,777千円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末比で9,534,319千円減少し、18,945,401千円となりました。主な要因は、欠損填補により資本剰余金が2,664,189千円減少、利益剰余金は欠損填補により増加し、当四半期純損失9,610,656千円を計上した結果、6,946,339千円減少したほか、役員、従業員向けストック・オプションの発行により新株予約権が80,979千円増加、その他有価証券評価差額金が5,234千円の減少、自己株式の処分465千円を計上したことによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、19,854,821千円となり、前連結会計年度末と比較して9,111,363千円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は、8,028,925千円（前年同期は425,362千円の減少）となりました。主な増減の内訳は、未払金の増減額1,967,268千円、未収入金の増減額△1,217,746千円、売上債権の増減額△48,941千円、法人税等の支払額38,276千円、税金等調整前四半期純損失9,573,812千円等の要因のほか、減損損失1,083,835千円、株式報酬費用79,125千円、減価償却費37,757千円等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、1,081,886千円（前年同期は138,347千円の減少）となりました。主な増減の内訳は、無形固定資産の取得による支出1,029,625千円、有形固定資産の取得による支出54,946千円等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、551千円（前年同期は324,495千円の減少）となりました。主な増減の内訳は、新株予約権の発行による収入2,043千円、自己株式の処分による収入403千円、配当金の支払額190千円等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の連結業績予想につきましては、2020年10月15日公表の「2020年8月期 決算短信」に記載した連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,966,185	19,854,821
受取手形及び売掛金	134,904	183,999
商品及び製品	47,175	48,336
未収入金	6,375,530	7,599,457
その他	128,830	397,074
貸倒引当金	△72,374	△97,233
流動資産合計	35,580,251	27,986,455
固定資産		
有形固定資産	51,460	49,261
無形固定資産		
ソフトウェア	9,441	7,942
その他	138	138
無形固定資産合計	9,580	8,081
投資その他の資産		
投資有価証券	182,722	187,745
差入保証金	111,275	110,976
繰延税金資産	13,277	13,277
その他	38,790	1,796
貸倒引当金	△1,567	△1,414
投資その他の資産合計	344,499	312,381
固定資産合計	405,540	369,724
資産合計	35,985,792	28,356,179

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,026	24,803
未払金	6,867,242	8,874,555
未払法人税等	201,259	112,365
賞与引当金	82,184	120,551
その他	256,978	227,554
流動負債合計	7,461,691	9,359,830
固定負債		
その他	44,380	50,947
固定負債合計	44,380	50,947
負債合計	7,506,071	9,410,777
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	16,113,422	16,113,422
資本剰余金	15,645,037	12,980,847
利益剰余金	△2,697,306	△9,643,645
自己株式	△634,095	△633,630
株主資本合計	28,427,058	18,816,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,197	44,962
その他の包括利益累計額合計	50,197	44,962
新株予約権	2,464	83,444
純資産合計	28,479,720	18,945,401
負債純資産合計	35,985,792	28,356,179

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
売上高	3,828,559	10,464,025
売上原価	1,290,459	5,202,983
売上総利益	2,538,099	5,261,042
販売費及び一般管理費	3,527,418	13,648,836
営業損失(△)	△989,318	△8,387,794
営業外収益		
受取利息	11	143
受取配当金	1,953	826
持分法による投資利益	24,030	16,337
助成金収入	—	8,532
その他	1,749	3,554
営業外収益合計	27,745	29,395
営業外費用		
支払利息	1,297	187
租税公課	2,709	—
保険解約損	—	11,048
為替差損	2	—
その他	508	12,894
営業外費用合計	4,517	24,130
経常損失(△)	△966,090	△8,382,529
特別利益		
投資有価証券売却益	100,039	68
特別利益合計	100,039	68
特別損失		
固定資産除却損	—	69
減損損失	—	1,083,835
役員退職慰労金	—	100,000
その他	—	7,445
特別損失合計	—	1,191,351
税金等調整前四半期純損失(△)	△866,051	△9,573,812
法人税等	38,502	36,843
四半期純損失(△)	△904,554	△9,610,656
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△904,554	△9,610,656

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純損失(△)	△904,554	△9,610,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125,009	△5,234
その他の包括利益合計	△125,009	△5,234
四半期包括利益	△1,029,564	△9,615,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,029,564	△9,615,891
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△866,051	△9,573,812
減価償却費	151,382	37,757
減損損失	—	1,083,835
株式報酬費用	—	79,125
固定資産除却損	—	69
投資有価証券売却損益(△は益)	△100,039	△68
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,973	24,706
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,064	38,367
受取利息及び受取配当金	△1,964	△970
支払利息	1,297	187
持分法による投資損益(△は益)	△24,030	△16,337
売上債権の増減額(△は増加)	△35,221	△48,941
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,632	△659
仕入債務の増減額(△は減少)	1,747	△29,223
未収入金の増減額(△は増加)	△770,853	△1,217,746
未払金の増減額(△は減少)	1,168,847	1,967,268
その他	△8,127	△344,239
小計	△473,609	△8,000,679
利息及び配当金の受取額	9,982	4,656
利息の支払額	△1,479	△187
法人税等の支払額	△44,640	△38,276
法人税等の還付額	84,383	5,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	△425,362	△8,028,925
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△183	△54,946
無形固定資産の取得による支出	△257,566	△1,029,625
投資有価証券の売却による収入	134,277	156
その他	△14,876	2,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,347	△1,081,886
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	3,800,000	—
短期借入金の返済による支出	△4,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,004	—
自己株式の処分による収入	27,280	403
配当金の支払額	△147,365	△190
新株予約権の発行による収入	—	2,043
その他	△2,406	△2,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△324,495	△551
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△888,208	△9,111,363
現金及び現金同等物の期首残高	2,185,728	28,966,185
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,297,520	19,854,821

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年11月26日開催の当社第21期定時株主総会決議により、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を2,664,317千円減少させ、同額をその他資本剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を2,664,317千円減少させ、同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の「(追加情報) (新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)」に記載した仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,215,674	612,885	3,828,559	—	3,828,559
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	142,751	142,770	△142,770	—
計	3,215,693	755,636	3,971,330	△142,770	3,828,559
セグメント利益又は損失(△)	△936,425	98,489	△837,936	△151,382	△989,318
その他の項目					
減価償却費	143,320	8,062	151,382	—	151,382

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△151,382千円は、報告セグメントの減価償却費であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,130,830	333,195	10,464,025	—	10,464,025
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	332,706	332,722	△332,722	—
計	10,130,846	665,902	10,796,748	△332,722	10,464,025
セグメント利益又は損失(△)	△8,399,752	49,715	△8,350,037	△37,757	△8,387,794
その他の項目					
減価償却費	30,289	7,468	37,757	—	37,757

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△37,757千円は、報告セグメントの減価償却費であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「出前館事業」において、当第2四半期連結累計期間に取得した固定資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において1,083,835千円であります。